

# まばゆい、がらんどう

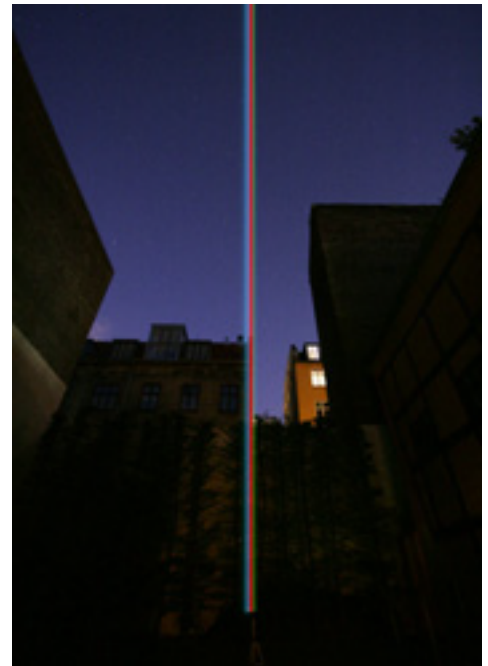
## Dazzling, Garandô

2010年1月6日[水]-1月20日[水] 東京藝術大学大学美術館

今日の美術の表現形態はテクノロジーの発展を経て実に多彩になりました。「まばゆい、がらんどう」展では、絵画、彫刻、写真、映像、音響、インスタレーションなど、さまざまな手法を横断する作家による先鋭な作品を紹介し、“アート”というテクノロジーの可能性を探ります。

アートは人によって作り出されるメディアです。人と作品と空間とが互いに共振して、あるいは歪みが生じて、私たちの知覚をあらゆる角度から刺激します。その経験は対峙する物事への認識を既知のものから解放し、次代へと進む手掛かりを与えてくれるのではないのでしょうか。

「まばゆい、がらんどう」とは、眩しい光に満ちた空間にいる時のような、光に圧倒される感覚をもとにしています。仮に、そこに物が無かったとしても、少なくとも圧倒する「光」の存在が感じられます。視界が表層を超えて、それまで潜伏していた「何か」に包まれる——本展は、このような摩訶不思議な作品たちによって構成されます。



志水児王 《3 parallel lines (150KM) Denmark 2009  
(Red laser Green laser Blue laser)》2009年(参考図版)

展覧会名：まばゆい、がらんどう [英名] *Dazzling, Garandô* (Dazzling, Hollowness)

出品作家：志水児王、鷹野隆大、谷山恭子、高嶺格、玉井健司、平野治朗、森弘治

会 期：2010年1月6日[水]-1月20日[水]

会 場：東京藝術大学大学美術館 展示室1 (地下2階展示室)

開館時間：10:00-17:00、1月16日[土]は10:00-20:00 (入館は閉館の30分前まで)

休 館 日：1月12日[火]

入 館 料：無料

会期中の関連イベント：1月16日[土]17:30-20:00

主 催：東京藝術大学、東京藝術大学美術学部附属写真センター

助 成：平成21年度文化庁芸術団体人材育成支援事業、藝大フレンズ賛助金助成事業、公益財団法人野村国際文化財団

協 賛：コエドブルワリー、株式会社スタート・ラボ、株式会社ニコン

協 力：NPO 丹波マンガ記念館、パナソニック株式会社、エプソン販売株式会社、アップルジャパン株式会社、エルコライティング株式会社、有限会社バイ・スリー、アーティスツギルド

お問い合わせ：Tel 03-5777-8600 (ハローダイヤル)

ウェブサイト：<http://dazzling-garando.com/>

東京藝術大学大学美術館：〒110-8714 東京都台東区上野公園12番8号 <http://www.geidai.ac.jp/museum/>

企画責任：椎木静寧 (東京藝術大学美術学部附属写真センター)

図録執筆：梅津元、島津京、椎木静寧

図録デザイン：中島英樹

広報に関するお問い合わせ：Tel&Fax 050-5525-2294 E-Mail [info@dazzling-garando.com](mailto:info@dazzling-garando.com)

〒110-8714 東京都台東区上野公園12番8号 東京藝術大学美術学部附属写真センター

志水児王 SHIMIZU JIO

1966 東京都生まれ

1994~1996 WrK レーベル (飯田博之、m/s、志水児王、角田俊也、富永敦)

2009~2010 平成20年度文化庁在外研修員としてデンマークに滞在/ナショナルバンクレジデンス  
グラント(デンマーク)/「GAMMEL Dok」アーティストインレジデンスグラント(デンマーク)/  
「CPH AIR」グラント Fabrikken for Kunst og Design(デンマーク)2010./他、KBS GARAGE CONCERT、  
WUNDERGRAND MUSIK FESTIVAL(デンマーク)などのコンサートに参加。

おもなグループ展

1997 「EAR AS EYE」LOS ANGELES CONTEMPORARY EXHIBITION (L.A.C.E)、ロサンゼルス、アメリカ

1999 「SIQUE EN SCENE」リヨン現代美術館、フランス

2000 「JUST ABOUT NOW」TENT CENTRUM BEELDENDE KUNST、ロッテルダム、オランダ  
「365/2000」MUKA GALLERY ニュージーランド

「サウンドアート/音というメディア」NTT インターコミュニケーション・センター [ICC]、東京  
「HUMOR Y ALIENTO - 第2回サウンド・アート国際フェスティバル」Cedro 90、メキシコ

2001 「IM- on very special brief occasions」フラック、アントワープ、ベルギー

2002 「音響現象から垣間見る微細な世界」栃木県立美術館

2004 「六本木クロッシング：日本美術の新しい展望2004」森美術館、東京

2007 「ニュー・ヴィジョン・サイタマⅢー7つの眼×7つの作法」埼玉県立近代美術館

2008 「釜山ビエンナーレ2008/Expenditure」CONTEMPORARY ART EXHIBITION 釜山市近代美術館、韓国

2009 「所沢ビエンナーレ「引込線」」西武鉄道旧所沢車両工場、埼玉

主なディスコグラフィ

1996 「WrK compilation」WrK (日本)

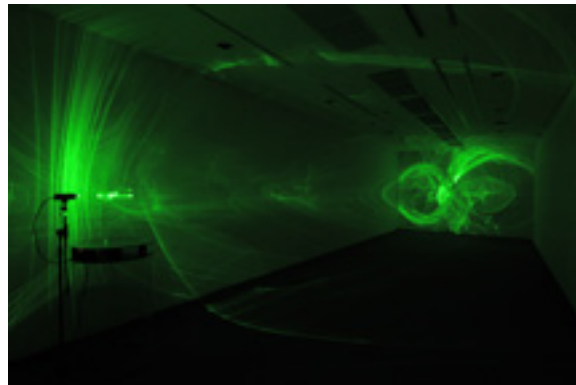
1999 「V229 (WrK)」V2 archief (オランダ)

1999 「SITE OF SOUND Architecture and the Ear」ERRANT BODIES PRESS (アメリカ)

2001 「45'18」meeuw (オランダ)

2002 「a∞b」edition... (エディション・スリドット) (アメリカ)

2005 「improvised music from Japan 2005」compilation album (日本)



志水児王《claisen flask》2007年(参考図版)

鷹野隆大 TAKANO RYUDAI

1963 福井県生まれ

1987 早稲田大学政治経済学部卒業

2006 第31回木村伊兵衛写真賞受賞

おもな個展

1994 「こわれてゆく女の標本」平永町橋ギャラリー、東京

1995 「ポルノグラフィ」平永町橋ギャラリー、東京

1996 「集合する肉体」イル・テンポ、東京

2000 「ヨコたわるラブ」ツァイト・フォト・サロン、東京

2002 「Twelve Messengers (十二使徒)」ツァイト・フォト・サロン、東京

2006 「男の乗り方」ツァイト・フォト・サロン、東京

2006-7 「ぼくの部屋」ギャラリーM、愛知

2007 「毎日写真」GALLERY at lammfromm、東京

2008 「ゆらぎ」CALM & PUNK GALLERY、東京

2009 「おれと」NADiff a/p/a/r/t、東京

「男の乗り方」GALLERY at lammfromm、東京

おもなグループ展

2000 「VOCA 展2000」上野の森美術館

2001 「手探りのキス 日本の現代写真」東京都写真美術館(2002年丸亀市猪熊弦一郎  
現代美術館に巡回)

2002 「Japanese Contemporary Art 展」トルコ中央銀行ギャラリー、イスタンブール、トルコほか

2004 「日常の変貌」群馬県立近代美術館

「out of the ordinary / extraordinary」ケルン日本文化センター、ドイツ(2005年シロー文化センター、ベルギーほか、現在も各国に巡回中)

2005 「ポスト・ジェンダー」ティコティン美術館、ハイファ、イスラエル

2007 「A Private History」フォトグラフィックセンター、コペンハーゲン、デンマーク

2008 「液晶絵画 Still / Motion」三重県立美術館(国立国際美術館、東京都写真美術館に巡回)

2009 「第5回太宰府天満宮アートプログラム 高松次郎|鷹野隆大“写真の写真”と写真」太宰府天満宮宝物殿、福岡



鷹野隆大《頭を持ち上げ、左手で宙をかくような仕草で寝転んでいる》シリーズ「男の乗り方」より 1999年(参考図版)

© Takano, Ryudai

Courtesy: Zeit-Foto Salon, Yumiko Chiba Associates

高嶺格 TAKAMINE TADASU

- 1968 鹿児島県生まれ  
1991 京都市立芸術大学工芸科漆工専攻卒業  
1999 岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー (IAMAS) 卒業  
おもな個展  
1992 「愛の資料館」ヴォイスギャラリー、京都  
2003 「在日の恋人」NPO 丹波マンガン記念館内坑道跡、京都  
2007 「Baby Insa-dong」AD&A gallery、大阪  
2008 「The SUPERCAPACITOR / スーパーキャパシタ」ARATANIURANO、東京  
「大きな休息 明日のためのガーデニング 1095m2」せんだいメディアテーク、宮城  
おもなグループ展  
1994 「大アート展」ラフォーレ原宿、東京  
2002 「現代美術への視点：連続と侵犯」東京国立近代美術館／国立国際美術館、大阪  
2003 「第50回ヴェネツィア・ビエンナーレ：緊急地帯」アルセナーレ、イタリア  
2004 「釜山ビエンナーレ 2004 Contemporary Art Exhibition」釜山、韓国  
2005 「景観ーもとの島」せんだいメディアテーク  
「横浜トリエンナーレ 2005」山下ふ頭、横浜  
2008 「大友良英 / ENSEMBLES -orchestras」山口情報芸術センター、山口  
2009 「I BELIEVEー日本の現代美術」富山県立近代美術館  
おもなパフォーマンス  
1993-97 ダムタイプによるパフォーマンス「S/N」「pH」「OR」に参加  
1996 「第5回メキシコパフォーマンスフェスティバル」エクステレサ、メキシコシティ  
1998 「オニキス・ドリームス」セイディ・ブロンフマン芸術センター、モントリオール、カナダ  
2001 「木村さん」国際情報科学芸術アカデミー (IAMAS)、岐阜  
2005 「もっとダーウィン」アイホール、兵庫  
2009 「美しい前歯」京都造形芸術大学・スタジオ 21、京都  
「Melody♡Cup」アイホール、兵庫



高嶺格《Baby Insa-dong》2007年（参考図版）

谷山恭子 TANIYAMA KYOCO

- 1972 愛知県生まれ  
1994 武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科卒業  
1996 武蔵野美術大学造形学部大学院修了  
おもな個展  
1998 Za Garely、東京  
1999 ガレリアラセン、東京  
2000 INAX Garely、東京  
2004 「Crossing」inart Garely、大阪  
「Fragment」Gallery ASK?、東京  
2005 「Daily necessities」Gallery SPEAK FOR、東京  
2006 「ECHO」void+、東京  
おもなグループ展  
1998 「第2回アート公募'98 審査員賞展」新木場 SOKO ギャラリー、東京  
「Morphe '98」南勢町内、三重県  
2000 「神奈川アートアニュアル」神奈川県民ホールギャラリー  
2001 「美術館を読み解く」表慶館と現代の美術 東京国立博物館内表慶館  
「Space Jack! 展」横浜美術館アートギャラリー + ヨコハマポートサイドギャラリー  
2003 「Another world museum」Side2 Gallery、東京  
「108」イセ文化基金ニューヨークギャラリー、ニューヨーク  
2004 「Archetypes」Charles H. Scott Gallery Emily Carr Institute、バンクーバー、カナダ（同年シドニー、2005年東京へ巡回）  
「Art Fair in Seoul」Seoul art center、韓国  
2006 「cool 4」ギャラリー 360°、東京  
2007 「Attempt」カスヤの森現代美術館、神奈川  
2008 「AOBA+ART」横浜市青葉区たまプラーザ商店街ほか、神奈川  
2009 「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 2009」越後妻有地域、新潟  
「広島アートプロジェクト 2009 「いざ、船内探検！ 吉宝丸」」広島市中区吉島地区各所、広島



谷山恭子《Projection of memory》2007年（参考図版）

玉井健司 TAMAI TAKESHI

1968 埼玉県生まれ

1995 愛知県立芸術大学美術学部美術科油画専攻卒業

1997 東京藝術大学大学院美術研究科油画専攻修了

おもな個展

1997 Garelly KIGOMA、東京

2000 「Boulder project」カノーヴァン、愛知

2001 「My father said」ナガミネプロジェクト、東京

2003 「クロスライン」ギャラリーツインスペース、大阪

2005 「苔のむすまで」レントゲンヴェルケ、東京

2006 「花の窟」ZENSHI、東京

2008 「重力亀」ZENSHI、東京

おもなグループ展

1994 「No Count Papers 増刊号2」青山界限、東京

1995 「写真で語るIV」東京藝術大学芸術資料館（陳列館）、東京

1997 「桐生再演4」桐生市街、群馬

1999 「もうすんだとすれば。斉藤公平・玉井健司・前掘浩二・横山豊蘭」ハイマウント・ビル、大阪

2000 「知性の触覚 2002 -Crazy climber 狂人越境者」ギャラリーイ K、東京

「Consecrate to you …を捧げよう-」モリスギャラリー、東京

2002 「GOOD LUCK!! an aspect of Contemporary Art」パルテノン多摩、東京

2003 「108」イセ文化基金、ニューヨーク

2004 「ECO METRO」光州ビエンナーレ、光州

2005 竹崎和征 x 玉井健司 「graft」タケザキフロア、東京

「インディーズフィルムフェスティバル in ながの」ネオンホール、長野

2006 「百花繚乱」BOICE PLANNING、神奈川

2007 「表現者決起集会」Black Chamber、大阪

2009 「Sunny Side ZENSHI '09」ZENSHI、東京



玉井健司《重力亀》2008年（参考図版）

平野治朗 HIRANO JIRO

1963 石川県生まれ

1987 松蔭浩之とともに **Complesso Plastico** (コンプレッソ・プラスチック) を結成  
コンプレッソ・プラスチックのおもな活動

1989 「メタリズム」ワコールアートセンタースパイラル、東京

1990 「アペルト 90」(第 44 回ヴェネツィア・ビエンナーレ)、ヴェネツィア、イタリア

「脱走する写真」展 水戸芸術館、茨城

「日本の現代美術—ゾーンズ・オブ・ラブ—」~1992 までオーストラリア、ニュージーランドを巡回

「キャンオンアートラボ 第 1 回企画展」テピア、東京

1991 UK ジャパンアートフェスティバルに参加 オールドライブラリーギャラリー、カーディフ、イギリス  
個人としてのおもな活動

1996-2004 岐阜県立国際情報科学芸術アカデミーに勤務

1992 「科学と復習」ON ギャラリー、大阪

1993 「アナザーワールド」展 水戸芸術館、茨城

「ロゴスのテーブル」ワコールアートセンタースパイラル、東京

1996 「ICC Workshop Methodology No.1 ~楽器とアンサンブルのいまとここ」NTT インターコミュニケーション・センター [ICC]、東京

1999 「100 Light Years」東京 名古屋

「DECODE」FREE SPACE 3、東京

2001 水戸芸術館開館 10 周年記念事業「宇宙の旅」展 水戸芸術館、茨城

2003 「第 2 回大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」越後妻有地域、新潟

2004 「白い基地」ワコールアートセンタースパイラル、東京

「白光温泉 -White Light Onsen-Vol.1」ミュージアムシティ天神、福岡

2005 「アートチャンネル十和田」(GINGA シリーズ実施) 十和田市、青森

2006, 07 「中越地震慰霊祭」(GINGA シリーズ実施) 十日町市、新潟

2009 「六本木アートナイト | 《GINGA》@ 六本木」東京

「水都大阪 2009 | 「GINGA」- 水都漂流 -」大阪

「五感の都市へ 仙台芸術遊泳 2009 | 120 億光年の旅」仙台市天文台、宮城



平野治朗《《GINGA》@ 六本木》2009年（参考図版）

森 弘治 MORI HIROHARU

- 1994 多摩美術大学美術学部日本画科卒業 学士号取得  
2000 クランブルック・アカデミー・オブ・アート大学院卒業 修士号取得  
2004 マサチューセッツ工科大学 (MIT) 大学院建築学部視覚芸術学科卒業 理学修士号取得  
おもな個展  
2001 「Aperture Project」 MIT N-51 ビル、マサチューセッツ州、アメリカ  
2003 「Aperture」 Figure17-15CAS、東京  
2007 「Hiroharu Mori is detached from the outside world」 ARTSPACE、シドニー、オーストラリア  
2009 「his speech」 hiromiyoshii、東京  
おもなグループ展  
2001 「international media art award 2001」 ZKM、カールスルーエ、ドイツ  
2004 「Heimatwechsel (Change of Home)」 Hartware Medien Kunst Verein、ドルトムント、ドイツ  
「Have we met? 見知らぬ君へ」 国際交流基金フォーラム、東京  
2005 「Expanded Media, 18th Stuttgarter Filmwinter」 ヴュルテンベルク芸術協会、シュツガルト、ドイツ  
「I Love Art Video 6th edition」 by le forum itinerant、ストラスブール現代美術館、ストラスブール、フランス  
「Publicly speaking - part1、2」 サムジー・スペース、ソウル、韓国 & トーキョーワンダーサイト渋谷、東京  
「The Burlesque Contemporains」 ジュ・ド・ポーム国立ギャラリー、パリ、フランス  
「Enseigner / Produire L'art de produire l'art」 フレノア・国立スタジオ、トゥルコアン、フランス  
「ピクチャー・イン・モーション DeLuxe」 栃木県立美術館、宇都宮  
2006 「インビジブル・ランドスケープ」 ルンドクストハレ (ルンド、スウェーデン)  
「アートスコープ 2005/2006: インターフェイス・コンプレックス」 原美術館、東京  
2007 「SHIFT: Places changing」 Lake Macquarie City Art Gallery、オーストラリア  
「アート・サマー・ユニバーシティ」 テートモダン美術館、ロンドン、イギリス  
「第 52 回ヴェネツィア・ビエンナーレ: Think with the Senses - Feel with the Mind. Art in the Present Tense (アルセナーレ)」 ヴェネツィア、イタリア  
2008 「The City As a Stage」 ロイヤル・アカデミー・オブ・ロンドン、ロンドン、英国  
「第 13 回バンガラディッシュ・ビエンナーレ: Anomalies」 ダッカ、バンガラディッシュ  
2009 「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 2009」 越後妻有地域 (福武ハウス)、新潟



森弘治 《speech act / test mic #081 (Video still)》 2008 年  
(参考図版)

【事前のイベント】

「シンポジウム：ファインアートとテクノロジー」

パネリスト：畠中実 (NTT インターコミュニケーション・センター [ICC] 主任学芸員)

梅津元 (埼玉県立近代美術館主任学芸員／芸術学)

林卓行 (玉川大学芸術学部ビジュアル・アーツ学科准教授)

日 時：2009 年 12 月 5 日 [土] 14:00-17:00

会 場：東京藝術大学 (上野校地) 美術学部中央棟 1 階 第 1 講義室

入 場 料：無料 (事前予約不要、当日先着順、定員 150 名)

主 催：東京藝術大学、東京藝術大学美術学部附属写真センター

助 成：平成 21 年度文化庁芸術団体人材育成支援事業、藝大フレンズ賛助金助成事業、公益財団法人野村国際文化財団

協 力：株式会社スタート・ラボ、株式会社ニコン

【会期中のイベント】

「Sweet Mellow Night with 《GINGA》」

日 時：1 月 16 日 [土] 17:30-20:00

会 場：東京藝術大学大学美術館 1 階エントランス

入 場 料：無料 (当日 14 時より 1 階受付にて整理券を配布します／番号順入場、自由席、座席 100)

内 容：平野治朗《GINGA》パレード (雨天の場合は中止、または内容を変更)

サウンド・ショー (出演：南場敬介+椎木静寧、志水児王、ほか)

※同日、「まばゆい、がらんどろ」展は 20:00 まで開館 (入館は 19:30 まで)

広報に関するお問い合わせ：Tel&Fax 050-5525-2294 E-Mail info@dazzling-garando.com

〒110-8714 東京都台東区上野公園 12 番 8 号 東京藝術大学美術学部附属写真センター